



2025.8.20(水) — 31(日)

[開館時間] 9:00~17:00 [休館日] 25日(月)

※尾崎氏によるギャラリートーク: 23日(土)14時より

クリエイティブ・スペース

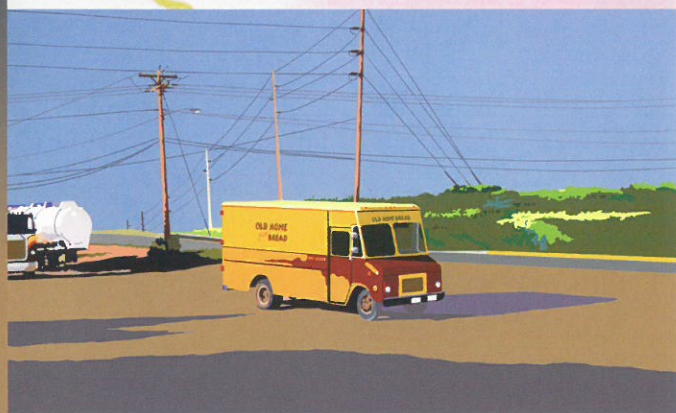
赤れんがホール I

入場
無料

イラストレーター

尾崎真吾のしごと展

ー たしかな目と、手 ー



主催 山口市、クリエイティブ・スペース赤れんが(指定管理者:NPO法人こどもステーション山口)
連絡先 C・S 赤れんが 〒753-0088 山口県山口市巾河原町5-12 TEL083-928-6666

8月20日[水]

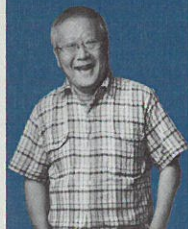
～31日[日]

9:00～17:00

※25日[月]休館

クリエイティブ・スペース
赤れんが ホール1

■ 尾崎氏による
ギャリートーク
23日(土)14:00～



花津浦(鉛筆画)

イラストレーター 尾崎 真吾 のしごと

- 1944年 山口県徳山市(現・周南市)生まれ 長門市在住。
- 1971年 全日本CM協議会フィルムフェスティバル グランプリ受賞。(味の素㈱)
同フェスティバルにてイラストレーション賞受賞。
- 1972年 カンヌ・フィルムフェスティバルにて銀賞受賞。(味の素㈱)
- 1974年 全日本CM協議会フィルムフェスティバルにてアニメーション賞受賞。(花王石鹼㈱)
同フェスティバルにてアメリカ・クリオ賞受賞。
- 1985年 日本雑誌広告賞 小スペース部門銀賞受賞。
- 1987年 NHKテレビアニメドラマ「アニメ三銃士」キャラクターデザイン制作。
- 1989年 横浜博覧会・三菱未来館「コンピューター・グラフィックス3D」デザイン制作。
- 1994年 新聞広告にて日経流通広告賞受賞。
米カンザスフォートヘイズ州立大学に4年間滞在后、大学院美術学修士号取得。
- 1996年 山口県長門市に尾崎真吾のギャラリー喫茶「ショアーズ」オープン。アトリエをかまえる。
- 2000年 郵政省発行「社会を明るくする運動50回記念」の記念切手の原画制作。以後、中国郵政局ほか発行の記念切手を5回にわたり原画制作。
- 2003年 美祿線(厚狭～仙崎間)「みすゞ号」の列車デザイン&イラストレーション制作。
- 2007年 JR西日本、山陰本線の観光列車「みすゞ潮彩号」車体&車内デザイン制作。
- 2008年 山口県周南市郷土美術資料館の企画展「尾崎真吾40年の軌跡」展示。
- 2009年 第14回山口県文化功労賞受賞。
- 2010年 「田頭よしとか 尾崎真吾 えほん原画展」アスピラート。
- 2018年 「尾崎真吾のみすゞギャラリー展」ルネッサなどが。平成30年度山口県選奨受賞。
- 2024年 「尾崎真吾の金子みすゞ展」スタービアクだまつ。

イラストレーターとして、広告界のあらゆる分野の制作に関わり、国内外での受賞歴多数。いっぽう、画家としてさまざまな絵本の原画を手がける。長門市に活動の拠点を移してからは金子みすゞの詩のイメージからの作画も多く、県内でもいちだんと名前が浸透した。確かなデザイン力に基づいた鉛筆画の魅力は時代を経ても変わらず、今回あらたな注目が予想される。この展示では、山口県出身、全国屈指のイラストレーターとして活躍を続けている尾崎真吾の「しごと」を一挙公開。



美祿線「みすゞ号」のポスター



山口きらら博ニュース 表紙



「さざえの家」(水彩画)



「弁天島」(鉛筆画)



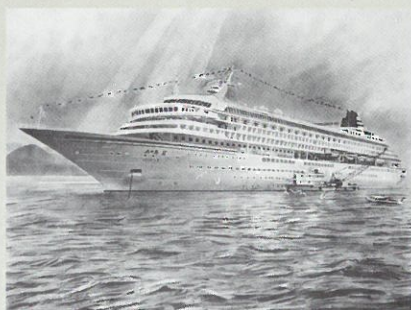
金子みすゞ 童謡絵本「海とかもめ」



Beach Boy (シルクスクリーン)



海外引揚 50周年記念ポスター



飛鳥II号(鉛筆画)

クリエイティブ・スペース赤れんが

〒753-0088 山口県山口市巾河原町5-12

OPEN: 9:00～17:00

休館日: 毎週月曜日、祝日の翌日。12/29～1/5

TEL 083-928-6666 FAX 083-928-6611

mail: renga-ya@c-able.ne.jp

